

こぶし vol.19

kobushi



ごあいさつ

春の陽気が心地よい季節となりました。みなさまにおかれましてはお健やかに過ごしのことと存じます。社会に目を向けますと、世界情勢の不安定、物価高騰や人手不足、さらにはデジタル化の加速など、私たちを取り巻く環境は大きく変化しております。介護業界においても、人材確保や生産性向上が重要な課題となっており、変化に対応し続ける姿勢が求められています。

さて、こぶしえんは開園から6年目を迎えました。開設当初より基盤づくりに全力で取り組んでまいりましたが、これからはその土台をさらに強固にし、「基礎レベルを高める段階」に入ったと感じております。その一環として、4月より介護（支援）の記録支援ソフトを『ケアカルテ』へ移行しました。タブレット端末やインカムの使用、AIの活用により生産性の向上を図ることで生まれる人的資源（チーム力）をご利用者へ還元してまいります。日々のケアの質、接遇、環境整備、チーム連携など、基本を徹底することこそが、ご利用者の安心と信頼につながるものと考えております。

また、令和4年に受け入れた外国籍職員が、このたび介護福祉士国家試験に無事合格することができました。慣れない環境の中で日本語や専門知識の習得に努力を重ねてきた姿は、私たちに大きな刺激と誇りを与えてくれました。彼らのさらなる成長を支えながら、多様な人材が活躍できる職場づくりを進めてまいります。

さらに今月8名の新入社員を迎え、新体制でのスタートを切りました。一人ひとりが役割を果たし、互いに学び合いながら、より質の高いサービスを提供できる組織へと成長していきたいと考えております。

今後とも、地域のみなさまに信頼され、安心していただける施設運営に努めてまいります。引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

介護事業部 園長 小河和泉



法人理念

「働き易い職場を創り、快適なサービスを提供する。」



ひな祭り

3月を前に、おひなさまの飾りつけを行いました。

「もうそんな時期なのね」「きれいね」と、みなさま自然と足を止め、1つひとつのお人形を懐かしそうにご覧になっていました。

飾りつけは、例年都市型軽費老人ホームにご利用者にご協力いただいています。「これは三人官女よ」「この並びだったかしら?」と思い出しながら、和やかな雰囲気なかで、一体ずつ丁寧に飾りました。



完成したひな壇は施設を華やかに彩り、春の訪れを感じさせてくれます。ひな壇の前で記念撮影を行い、行事食を味わいながら笑顔あふれるひとときを過ごしました。

介護事業部第二課 課長 柴山朱那



レクリエーション

特養4階で、外国籍職員が中心となって企画したゲームレクを行いました。

ご利用者が2チームに分かれて向かい合って座り、スティックを使ってボールを味方のゴールに入れた方が勝ちというものです。

自分の目の前に転がったボールが敵チームの方に行かないように、細いスティックを上手に操作するのは案外難しく、ボールの行方に一喜一憂しながらゲームは大変盛り上がりしました。

今後もご利用者にとって日常の潤いとなる楽しいレクを企画してまいります。

相談課 大堀浩子



介護福祉士合格!!

3月、介護福祉士国家試験合格者が発表され、こぶしえんでは10名の職員が見事合格しました!

日本人職員5名に加え、EPA3名を含む外国籍職員5名です。

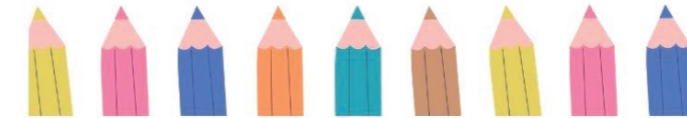
「介護福祉士」は、介護に係る一定の知識や技能を習得していることを証明する唯一の国家資格です。

受験した職員にとって、仕事と勉強の両立に加え、EPAと外国籍職員は日本語での学習など、

まさに日々の努力が実った結果となりました。

専門知識を活かし、ますますの活躍を期待しています!

総務課 永井亜依



支援外出



12月から3月にかけて、支援事業部では近隣のカフェ 神乃珈琲や、和菓子店 御門屋へ外出しました。ご利用者当事者の会「みんなか会」にて「職員と1対1で外出したい」という意見があり、この新しい形式での外出に喜びの声が多く挙がっています。

食事を終えた後はおやつも購入し、ご利用者のみなさんの満足気な表情が多くみられました。外でのお食事が難しい方は少し暖かくなるのを待ってから、公園へ外出します。

今後もいろいろな場所への外出を予定しています。



支援事業部第一課 小池晴

節分行事

2月3日節分に、一年の無病息災を願う「節分行事・豆まき大会」を開催しました。

こぶしえんに今年も恐ろしくも陽気な鬼たちがやってきました。「鬼は外!」「福は内!」の元気な掛け声とともに、鬼に扮した職員をめがけて豆(安全面に配慮し、新聞紙を丸めた物を使用して)を力いっぱい投げいただきました。

鬼が退散していく様子を見て、会場は活気と笑顔に包まれ、達成感もみなぎり大変盛り上がりしました。最後には改心した鬼と肩を組んで記念撮影をされたり、握手をして和解したりと、参加されたご利用者の笑顔が溢れ、こぶしえんは「福」「福」「福」でいっぱいとなり幸福に包まれました。

さらにレストランでも、近隣の保育園児をお招きし、飛び入り参加の小学性も含めてご利用者が一緒になった鬼退治は、とても賑やかでアットホームな会となりました。今年一年も、みなさまが健やかに過ごせますようお祈りいたします。

介護事業部第二課 加藤晶



大規模防災訓練



3月19日(木)、目黒原町会、下目黒五丁目自治会、近隣施設の沙羅の家様にご協力いただき、大規模防災訓練を実施しました。災害発生から3日後を想定したBCP(事業継続計画)訓練の一環です。

「目黒区より要請を受けて福祉避難所を開設する。」という想定でテントや段ボールベッドの設営、炊き出し、停電時の環境を実際に体験しました。

毎年3月に繰り返し行うこの訓練を通して、「備えあれば患いなし」のごとく、地域の

防災拠点として貢献できる体制づくりを推進してまいります。

支援事業部第一課 課長 鈴木淳



看多機調理活動

看多機では、ご利用者が買い物から調理、盛り付けまで、職員がサポートしながら行う調理活動を毎月実施しています。

3月は『煮穴子のちらし寿司』です。具材を切って煮たり、用意した酢飯に混ぜたり、みなさんで手分けして調理する賑やかで楽しい時間となりました。

これからも、ご利用者の笑顔が広がる日中活動に積極的に取り組んでいきたいと思ひます。

介護事業部第一課 課長 飯塚亮





EPA18紹介



介護事業部第三課 ウィディヤ さん

自己紹介

インドネシアの西カリマンタンから参りました。
インドネシアの大学で看護学を専攻しておりました。



こぶしえんに来てびっくりしたことや

印象に残っていること

こぶしえんで働き始めてから、介護職の役割や仕事内容が看護師とは大きく異なるということを学びました。ご利用者の生活を支える介護の大切さを実感しました。

日本の中でこれから行ってみたいところ

北海道や大阪に行ってみたくて思っております。

意気込み

これから日本語と介護の勉強をがんばります！ご利用者に安心してもらえる介護職員になり、介護福祉士を目指したいです。どうぞよろしくお願いいたします。



介護事業部第四課 ナシワー さん

自己紹介

インドネシアのジャカルタから参りました。
まだ不慣れな点もありますが、一つ一つ学んでいきたいと思っています。



こぶしえんに来てびっくりしたことや

印象に残っていること

インドネシアで大学に通っていた時、専攻は看護師でした。
介護の仕事は、ご利用者の生活全体を支える大切な仕事であり、その責任の大きさにとても驚きました。

日本の中でこれから行ってみたいところ

雪がたくさん降るところに行ってみたくてです。特に北海道に行ってみたくてです。

意気込み

これから、仕事をしながら勉強も頑張りたいとおもっています。毎日少しずつ学んでいき、国家試験に合格できるように努力します。どうぞよろしくお願いいたします。

こぶし vol.19

発行 社会福祉法人 徳心会
福祉施設 こぶしえん 広報委員会
〒153-0064 東京都目黒区下目黒6丁目18番2号
TEL.03-5722-5550 FAX. 03-5722-5570

発行人 園長 小河和泉

編集人 広報委員長 遠藤友香

発行日 令和8年4月15日

E-mail kobushien@tokushinkai.jp

H P <https://tokushinkai.jp/>



※写真につきましては、ご利用者およびご家族の了解を得て掲載しております。
※撮影のため一部マスクをはずしております。

編集後記



徳心会のコンセプトムービーを作製しました。徳心会4施設それぞれで日常の様子や介護、支援、多職種の現場で、ご利用者と職員が笑顔あふれる映像になっています。

こぶしえんでは、快晴の空のもと、あたたかな光が降り注ぐ園庭やテラスでの撮影を中心に、施設の魅力をふんだんに映していただきました。

各施設のメイキング動画が徳心会のInstagramでご覧いただけます。ぜひアクセスしてみてください。

総務課 栄養係 遠藤友香